

組合だより

ながの

Vol.35

平成30年(2018)5月31日発行

JForest
長野森林組合

〒380-0852 長野市大字長野東之門町2462番地(城山公民館 別館3階)
TEL 026-252-7300(代表) FAX 026-252-7386

E-mail : nagano-sinkumi@an.wakwak.com

URL : <http://park23.wakwak.com/~nagano-sinkumi/>



長野市立鬼無里小・中学校特別教室棟(鬼ら里) (関連記事 P5)

●主な内容

第17回通常総代会開催/永年勤続被表彰者・全国森林組合連合会長表彰/平成29年度損益計算書・平成30年度損益計画/平成29年度取扱実績……2
着任のご挨拶/長野森林組合平成30年度重点項目/理事会開催……3
特集【農中森力基金事業完了しました/鬼無里小・中学校特別教室棟完成】……4～5
フォレスト情報【長野県議会農政林務委員会に陳情/森林経営管理法が成立しました/「第12回みんなで育てる協働の森づくり(千曲市植樹祭)」行われる/安全祈願祭、安全衛生研修会を開催/木材市況】……6～7
贈り物に『きのこ山菜加工品の詰合せ』はいかがでしょうか/土手の草刈り時の足場として円柱丸太を活用しませんか/森林保険に加入しましょう/新人職員の紹介/人事異動/編集後記……8



第17回通常総代会開催

平成30年度第17回通常総代会が、3月28日(水)午後2時より、長野市長野県自治会館において総代142名(本人73名、書面議決69名)の出席を頂き開催されました。

酒井組合長より、森林整備を実行するうえで必要な許可・届出等の不備が新聞紙上で報じられているが、当組合では同様の事案発生防止のためチェック体制強化に努めている事、内部管理体制強化を図るべく役員者のコンプライアンス研修を外部指導者により実施し適正な組合運営を図っている事、「森林づくり県民税」が本年度から三期目の継続となり多面的な活用が期待される事、来年度より「森林環境税(仮称)」が創設される事」となり、地域林業活性化への主たる担い手として取組んでいくと挨拶がありました。



の事務所として借用している旧蔵春閣が老朽化により



全議案可決決定されました

議長 飯綱町の 上野総代様

閉鎖される事となり移転せざるを得ない状況となり昨年からの移転先を検討して来たが、長野市のご配慮により移転先の目途がついて来ているので早期移転を目指して行く事と、移転先については組合運営の本拠地として、緊急理事会で購入することで決定頂いたので、平成30年度事業計画として本総代会で決定頂く事の説明もありました。

平成29年度は、主たる組合事業の組合員所有林の森林整備が年度途中で補助金予算の関係で事業メニューの変更があり対応に大変苦労しましたが、森林経営計画を基に事業推進が出来ました。また、機関造林事業(請負の森林整備)の発注減、加工事業(木材加工・食品加工)の売上減などが事業進捗に大きな影響を及ぼしましたが、総取扱高は17・28億円で計画比120%となり、森林整備は、958ha余を実施し、木材の取扱量は、39,000m余を搬出し、森林経営計画樹立累計面積は12,480haとなり管内民有林の約16%を樹立出来ました。

議長には、飯綱町の上野説郎氏を選出し、11議案すべて原案通り可決決定されました。

第5号議案では、経営意欲の低下した森林所有者の森林等について将来的に森林組合系統が代って森林経営を行いやすくし施業の集約化等を促進する「森林経営事業の実施について」が、第6号議案では森林組合法改正に伴う「定款の一部変更」が、それぞれ特別議決で可決決定され、第7号議案では、「森林経営規程の

制定」が決定されました。

来賓として、長野地域振興局局長 代理宮下林務課長補佐兼林務係長、川村北信森林管理署長、加藤長野市長、長野県森林組合連合会会長代理 林副会長理事、農林中央金庫関東業務部佐藤部長代理各位からご祝辞を頂きました。議事終了後、組合長より永年勤続職員への表彰状の授与、全国森林組合連合会会長表彰の伝達が行われました。受賞者を代表して小川兼範氏より謝辞を頂き、村石副組合長のご挨拶となりました。

平成29年度 損益計算書・平成30年度 損益計画 (単位：千円)

平成29年度実績		事業区分	平成30年度計画	
取扱高	損益		損益	取扱高
13,471	△7,217	指導	△13,539	12,225
461,914	70,671	販売	91,018	565,475
332,429	4,230	加工	14,595	300,807
515,272	11,319	森林整備	30,759	227,754
372,796	126,933	林用地供給	142,513	340,277
39	39	福利厚生	0	0
559	559	購買	450	450
31,618	5,420	金融	3,644	21,821
28	7		7	7
1,728,126	211,961	合計	269,447	1,468,816
	206,878	事業管理費	263,592	
	5,083	事業利益	5,855	
	12,257	事業外損益	△3,420	
	17,340	経常利益	2,435	
	701	特別損益	4,656	
	△984	法人税・住民税	△985	
	17,057	当期剰余金	6,106	

※取扱高には、受託事業含む

平成29年度 取扱実績 (単位：ha)

木材の取扱量 (m ³)	森林整備	新植	下刈	除伐Ⅰ	除伐Ⅱ	除伐Ⅲ	間伐	搬出間伐	枝打	その他	計	
販売事業	1,052	受託	1	30	0	0	30	418	194	0	17	690
林産事業	6,844	請負	5	17	26	26	0	8	110	1	69	262
受託林産事業	23,003	治山	0	0	0	0	0	6	0	0	0	6
林産請負	9,219	合計	6	47	26	26	30	432	304	1	86	958
加工事業	1,292	(ペレット 403トン、オガ粉 44m ³ 含む)				作業道・作業路開設				29,665m		
合計	41,410											

◎永年勤続被表彰者	25年以上一般職員	鬼無里事業所食品加工係
北川 康一	25年以上技能職員	兼範
小川 真司	20年以上技能職員	由和
	10年以上技能職員	徳久
	10年以上技能職員	川又
	10年以上技能職員	本間
	10年以上技能職員	伊藤
	10年以上技能職員	徳竹
	10年以上技能職員	堀
	10年以上技能職員	池田
	10年以上技能職員	好一



「確かな暮らしが営まれる美しい信州」とそれを支える森林・林業



長野地域振興局林務課長 佐藤 繁

ヤマザクラやコブシの時期も過ぎ、山は夏に向けて日々緑が濃くなって来ています。組合員の皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

私は、この四月より、長野地域振興局の林務課長として着任致しました。長野地域での勤務は初めてではありませんが、当地域の森林・林業のために、微力ながら尽力してまいりたいと考えております。皆様には大変お世話になる事と思いますが、よろしくお願い致します。

さて、県民の皆様からの応援も頂く中で、「森林づくり県民税」も本年度から第3期となります。

また、来年度からは、2024年度に導入される国の森林環境税に先立ち、森林環境譲与税が市町村や都道府県に配分される事となります。今後は、県・国を挙げて「伐採から再造林」に向けた動きが、より現実味を帯びてくると思われまます。

さて、昨年度策定した「長野県総合5ヵ年計画（しあわせ信州創造プラン20）」においては、基本目標の「確かな暮らしが営まれる美しい信州」学びと自治の力で拓く新時代」に向けた重点政策を「収益性と創造性の高い農林業の推進」として、その中に「森林の持続的な管理と多面的な活用」を位置づけ、集約化と計画的な森林整備による循環利用と様々な主体の参画による自立的・持

続的な管理体制の構築等を推進する事としていきます。

また、「県土の強靱化」の中においても、「災害に強いインフラ整備」を位置づけ、適切な間伐等による災害に強い森林づくりを推進する事としています。

さらに、計画期間の5年間で答えが出ないかも知れない中・長期的なチャレンジプロジェクトとして、「美しく豊かな木と森の文化の再生・創造」を掲げ、森林の恵みが享受できる地域社会づくりを目指す事としています。

計画の全体は、県のホームページ（<http://www.pref.naganan.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/2018keikaku.html>）を御覧頂ければと思えます。

私も林務課職員一同、これらの実現に向け尽力して行く予定ですが、いずれも県行政だけでは実現困難な内容です。組合員の皆様にもご理解とご協力をよろしくお願い致します。また、組合員皆様のご活躍、ご健康を祈念し、着任のあいさつとさせていただきます。

理事会開催

第4回理事会

開催日 平成29年12月12日

《議事》

- 第1号議案 第三四半期の事業報告と年度末見込みについて
- 第2号議案 本所事務所移転の件について
- 第3号議案 職員等の年末賞与の支給について
- 第4号議案 要領等の一部改正と事務手続きの制定について

- 追加議案 長野県による森林組合常例検査の指示書と改善内容について
- 追加議案 職制規程の一部改正について
- 追加議案 意匠権の処分について

- 《承認議案》
- 第1号 理事との利益相反契約について
- 《報告事項》
- 第1号 専門委員会等からの報告について
- 第2号 平成30年度間伐等森林整備促進対策事業等の要望について
- 第3号 不適正事業について

- 緊急理事会
- 開催日 平成30年2月13日
- 《議事》
- 第1号議案 本所・長野支所事務所取得の件について
- 《承認議案》
- 第1号 理事との利益相反契約について
- 《報告事項》
- 第1号 会議等の日程について

- 第5回理事会
- 開催日 平成30年3月7日
- 《議事》
- 第1号議案 平成29年度資産査定結果及び

- 第2号議案 貸倒引当金（案）について
- 第3号議案 平成29年度決算及び剰余金処分（案）について
- 第4号議案 平成30年度事業計画（案）について
- 第5号議案 総代会の招集及び総代会に附議する事項について
- 第6号議案 森林経営事業の実施について
- 第7号議案 定款の一部変更について
- 第8号議案 規程の制定について
- 第9号議案 固定資産の処分について

- 《承認議案》
- 第1号 理事との利益相反契約について
- 《報告事項》
- 第1号 組合員の加入・脱退について
- 第2号 総代会の開催要領等について
- 第3号 年末賞与の支給状況について
- 第4号 決算賞与の支給状況について
- 第5号 専門委員会等からの報告について
- 第6号 債権回収の件について
- 第7号 本所・長野支所事務所取得の件について

- 第1回理事会
- 開催日 平成30年4月25日
- 《議事》
- 第1号議案 理事の各人別報酬額の決定について
- 第2号議案 組合加入金の額の決定について
- 第3号議案 利用料及び手数料の額の決定について
- 第4号議案 固定資産の取得について
- 第5号議案 参事及び会計主任の任免について
- 第6号議案 規程の一部改正について
- 《承認議案》
- 第1号 理事との利益相反契約について
- 《報告事項》
- 第1号 専門委員会等からの報告について
- 第2号 債権回収の件について
- 第3号 本所・長野支所事務所取得の件について

長野森林組合平成30年度重点項目

1. 法令順守を徹底し信頼される組織として、経営管理体制の強化と透明化を推進します。
2. 組合員のための組合経営を基本理念とし、健全な森林づくりと森林整備による利益還元を努めます。
3. 木材の地産地消を基本に利用推進を図ります。
4. 健康で意欲湧く労働災害のない職場づくりに努めます。

特集

農中森力基金事業

『やまんばん伝説の里』信州中条の森林再生事業』完了しました

昨年来、長野市中条地区で進めて参りました『農中森力基金』の現場で、平成29年11月1～2日に第一回フォロアアップとして、東京大学名誉教授の酒井秀夫先生がお見えになり開設した森林作業道の状況と搬出間伐の実施状況を確認されました。先生からは、丁寧な作業道作設と管理がされている点についてと、熱心な若手技能職員の質問内容について好評価を頂きました。

平成30年3月8～9日に第二回として山形大学名誉教授の野堀嘉裕先生がお見えになり、中間土場、クレーンによる搬出間伐の現場、広葉樹施業の現場を確認されました。先生からは、地域の实情に沿ったクレーンによる搬出間伐は今後可能性が高いという評価と、広葉樹施業については諸外国の調査結果も交えてご指導を頂きました。



作業道開設と間伐が完了し明るくなった森林



クレーンによる搬出間伐状況（ドローン撮影画像）



平成30年3月14日には、森林総合研究所林業工学研究領域収穫システム研究室長 上村巧氏、主任研究員 中澤昌彦氏・灌誠志郎氏、長野県林業総合センター主任研究員 戸田堅一郎氏を招き、研究成果発表会を中条「やまんばん家」にて開催しました。本事業のテーマである、「最終林型を明確にして目的に応じた施業の実施を行うこと」について、基本的なゾーニングの手法から、最新のレーザー技術やUAV（ドローン）を活用した森林調査まで中条での調査研究の成果を発表頂きました。今回の貴重な研究内容について、本事業

業の報告書を作成しました。本書を活用すると共に、7月26～27日に東京で開催される森林組合トップセミナーにて、事業を担当した赤松課長・和田（優）技師で全国発表し広く技術の普及に努めます。
農中森力基金事業により、中条地区に森林経営計画2団地を樹立し、搬出間伐20・85ha、造林保育20・58haの森林整備、作業道3,266mの開設及び補修を実施することが出来ました。引き続き当該地域での森林整備を拡充し地域の活性化にも貢献して参りたいと思います。



野堀嘉裕先生



酒井秀夫先生



研究成果報告会



●鬼無里小・中学校特別教室棟「鬼らり」が完成しました

本年4月、長野市鬼無里地区に鬼無里小・中学校が開校し、特別教室棟も完成しました。

鬼無里地区には、小学校と中学校が、児童数の減少や、平成26年に発生した神城断層地震による鬼無里中学校校舎の被災により、小学校の校舎を利用し一貫校が開校するとともに、昨年からの工事が行われてきた特別教室棟も完成し「森の学び舎 鬼らり（きらり）」と命名されました。

工事の概要ですが、木造平屋建て、延べ床面積は約600㎡で、多目的ホール・図書室・クラフトルーム・交流室・事務室・トイレが新たに建設され、その他既存校舎の改修工事も行われました。

工事は昨年7月から開始され、本体工事は長野市の川浦土建株式会社 が請負いました。長野森林組合では、構造・造作などの木工事、木製建具・家具工事、既存校舎の改修工事を施工しました。

木工事では、地元鬼無里産材の杉と唐松を製品材積で約67㎡使用しました。

特別教室棟建設の計画段階から地元の皆様から、「ぜひ鬼無里の木材を使用してほしい」との要望を頂き、設計業者とも打合せを進めました。

木材は、昨年7月から戸隠西岳連峰の麓にある十八部落生産森林組合分収林から伐採搬出し、県内の集材工場や製材所に直送し建設工事の進捗に合わせて準備しました。分収林オーナーとの分収契約満期が、特別教室棟建設工事とちょうど一緒になり、長年育成した木材が、地元の学校の校舎として活用される事は感慨深いものがあります。

本工事では地元の皆様のご理解、ご協力を頂きながら「地域材をふんだんに利用した学校建設が実現しました。」

完成した校舎は、木のぬくもりに溢れ、子供達からも大変好評であります。新しい木造校舎が鬼無里地区の豊



左が「森の学び舎 鬼らり」、右が「鬼無里小・中学校校舎」



多目的ホール



伐採地（十八部落生産森林組合 分収林）

かな森林資源のアップीलにつながればと思います。

当組合では、木材の有効活用策として管内の公共建築物（学校・保育園・公民館・村営住宅など、大規模案件としてはJR長野駅善光寺口の大庇・列柱工事）の木造化・木質化に地域材を活用する事に積極的に取り組んでおります。

現在手掛けている工事もありますが、各地域で計画される公共建築物への木材利用を、組合員の皆様からも行政等へ要望頂くようお願い致します。



↑ 図書室



フオレスト情報

長野県議会農政林務委員会に陳情

長野県議会農政林務委員会の現地調査が5月30日行われ、その席上、次の項目について陳情を受けて頂きました。

1. 森林整備事業の拡充について

- (1) 国の森林造成補助制度が撤出間伐を中心とする内容に改正され、森林経営計画を樹立し撤出間伐に取組んでいます。が、国の厳しい予算状況により十分な森林整備が行われにくい状況となっている。長野県森林づくり県民税「活用事業の撤出間伐事業への充実拡充を要望。
- (2) 成熟期を迎えつつある人工造林地で、主伐・再造林を一体的に実施するには森林所有者の費用負担が多くなり再造林する意欲を失ってしまうのが現状なので、現在の補助制度で不十分な地拵え、植栽、下刈り等の再造林に係る事業に対する長野県森林づくり県民税による手厚い補助を要望。

2. 松くい虫による枯損木について

- (1) 森林・林業県として、「枯損した松が林立する状況は、景観及び森林に入る方々の安全確保の観点から伐倒処理を行う必要

3. 施業集約化の推進への支援について

- (1) 昨年4月森林法の一部改正が行われ、林地の境界情報等を整備するため、市町村が統一した基準で作成する『林地台帳（森林の土地の所有者、境界測量の実施状況等を記載）』に関する規定が設けられました。が、現在の森林組合等林業事業者の自助努力のみでは、森林所有者情報入手や所有者確認に限界があり、森林所有者や森林の境界特定が進まない状況があったので、「林地台帳を整備する事業の内容充実と市町村への指導」を要望。

4. 地域材の利用促進と需要拡大対策の充実について

- (1) 「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」に基づき、公共建築物の木造化・木質化に地域材の活用が積極的に進められる事と、一般住宅等への地域材使用に対する更なる補助制度の充実と、土木工事等への木材利用の設計採用と地域材での指定を要望。

- (2) 公共建築物等については、構造物材、内装材に限らず、外装材・家具・建具材などへの多様な地域材利用の拡充を要望。

- (3) 市町村等が計画している公共建築物建設工事において、地域材利用に関わる情報提供と市町村等への技術指導を要望。
- (4) 木質バイオマス利用促進のため、公共施設や農業施設等への木質バイオマスボイラーの設置に対する助成措置の予算増額を要望。

森林経営管理法が成立しました

戦後造成された人工林の約半数が主伐期を迎えようとしている一方、「森林所有者の経営意欲が乏しく経営管理が出来ていない、境界がわからない、所有者や共有者がわからず手が付けられない」といった森林が多く存在し、このまま推移すればこうした森林がますます増える事が予想され早急な対策が必要。ため、林野庁においては、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図るため、「新たな森林管理システム」を創設することとし、森林整備する

人がいない私有林を市町村が管理する「森林バンク」制度の創設を盛り込んだ森林経営管理法が第196回国会に提出され、5月25日参議院本会議で可決、成立し来年4月に施行されます。

「新たな森林管理システム」の概要は、①森林所有者に適切な森林管理を促すため、森林管理の責務を明確化。（伐採後の造林保育を義務付け）②森林所有者自らが森林管理を実行できない場合に、市町村が森林管理の委託を受け意欲と能力のある林業経営者に再委託する。③再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林においては、市町村が管理を行う。となっています。

また、平成31年度から市町村や都道府県に譲与が始まる「森林環境譲与税（仮称）」については、「市町村が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用並びに都道府県が行う市町村による森林整備に対する支援等に関する費用に充てなければならぬ」と法令上使途が定められております。当組合も、制度の円滑な導入と効果的な運用が図れるよう関係各所と協力して参ります。

「第12回みんなで育てる協働の森づくり」(千曲市植樹祭)「行われる

5月12日(土)、大池市民の森に於いて「第12回みんなで育てる協働の森づくり」が千曲市主催で、市内の全小学校9校から参加希望した児童約百名、各種団体等からの参加者約百名で行われました。

午前中は、エノキ、ヤマモミジ、シラカバ等約1000本の植樹を行いました。会場までの長い坂道では、児童たちの爽やかな歌声が聞かれ、一般参加の方々も思わず口ずさみ、和気あいあいの雰囲気で行われました。

午後は、小学生を対象に森林体

験学習会として壁掛け・ワックスシャーパズル作りの木工教室や薪割り体験が行われました。

当組合が担当した薪割り体験では、なかなか丸太を割れない児童もいましたが、何度も鉋を振り下ろしているうちに割れた瞬間の満面の笑みの表情が大変印象深いものでした。

無事、体験教室が終了し、参加した児童から「楽しい一日でした」との感想をもらい、充実した一日が過ごせた事を嬉しく思いました。



植樹風景



岡田千曲市長様を囲み記念写真

安全祈願祭、安全衛生研修会を開催

本年度の安全祈願祭を5月18日(金)長野市城山の「健御名方富命彦神別神社(たけみなかたとみのみことひこかみわけじんじや)」で、酒井組合長以下理事者・職員・技能職員約100名が参列し、一年間の無事故・無災害を齋藤神官に祈願して頂きました。

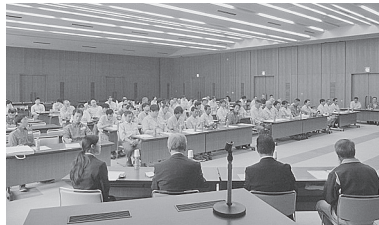
その後、長野県自治会館大会議室で、北信森林管理署三島次長様、長野地域振興局林務課佐藤課長様を来賓にお迎えし安全衛生研修会を開催しました。新規採用技能職員の辞令交付、無災害・無事故3年間を達成した西山支所山王班の表彰、平成30年度安全目標の発表を各班長からして頂き、引き続き、当組合の外部安全指導者としてお願いしている林材業安全管理指導専門家 市川和歳様を講師にお迎えし、「安全パトロールから見た安全作業員について」と題し、技能職員のコンプライアンス(各種防止規定の順守)も含めたご講演を頂きました。災害を繰り返さないための、指差し呼称・危険予知活動

などの実践による地道な活動の重要性、かかり木を作らない・上下作業の禁止・禁止事項はやらないなど安全に対する意識(作業水準・技術)の向上に努める事の大切さ、高性能林業機械の能力を発揮させるためには日頃の点検・整備(メンテナンス)を怠らず行い大切に扱う事などをご指導頂きました。

組合からの安全衛生指導を関野専務理事から、「災害の起きない職場風土づくり」として、「禁止事項は絶対やらせない、やらせない」と題し、コミュニケーションの充実による災害防止などの指導があり閉会となりました。



安全祈願祭



安全衛生研修会

指差し呼称・危険予知活動

指差し呼称・危険予知活動



講師の市川和歳様

木材市況

市場では、スギについては価格は横ばい傾向です。

カラマツについては、高値で安定しており、土木需要も大変多くなっており積極的な出材依頼があります。

当組合では、森林経営計画団地内の搬出間伐推進により森林所有者皆様への利益還元に取り組んでいますので、森林経営計画樹立にご理解ご協力願います。

第1040回 平成30年5月10日 長野県森林組合連合会 北信木材センター

樹種	長さ(m)	末口(cm)	平均値~高値(円/m)	平均石値(円)	備考
スギ	3.0	16~18	9,000~13,000	2,500	需要あり、直造材で
		20上	10,000~13,500	2,800	直造材で
	4.0	13下	4,500~5,500	1,250	需要あり
		22~28	11,000~14,000	3,060	直造材で
カラマツ	4.0	30上	11,000~18,000	3,060	直造材で
		13下	6,000~11,000	1,670	需要あり、直造材で
	5.0~6.0	14~18	9,000~12,500	2,500	需要あり
		20上	13,500~20,000	3,760	需要あり
	5.0~6.0	13~18	13,000~16,000	3,620	需要あり、直造材で

(1石:0.27826m³)



「ご飯あったかセット」→



切使用せずに「安心・製造」しております。近年、国産原料を確保するには、限られた旬の時期に1年分の原料を確保しなくてはならず、その年の天候等に大きく左右されます。また、農山村の人口減少・高齢化が著しく、「山菜等物があっても収穫する取手の方々の」という状況となっております。今春の「ふきが不足し契約数量が確保出来ず、急遽、北海道から不足分を調達しました。お薦め商品としては、贈答用として「ご飯大好きセット」（6本詰合せ）や「きのこの山菜8本セット」をはじめ、身近な方への手土産やご自宅用にも適した「えのき茸漬セット」（3本詰合せ）や期間限定の特別セット「ご飯あったかセット」（3本詰合せ）等も特別価格にて御用意しております。事前にご注文頂きますと、後日、お客様の近隣の支所で、品物をお渡しすることも可能です。ご注文お問い合わせは、鬼無里事業所（TEL026-251256）やお近くの各支所又は本所までお願い致します。



7月から8月のお盆にかけてのお中元シーズンに併せ、鬼無里事業所食品加工場で製造している「きのこの山菜の加工品詰合せ」のギフトフェアを開催しております。国産・長野県産のきのこや山菜等の原材料を、遺伝子組換えでない作物を原料にした調味料や合成添加物を化学調味料や合成添加物を持って安全にこだわりの物を持つ

贈り物に『きのこの山菜加工品の詰合せ』はいかがでしょう

新人職員の紹介



北部支所 技能職員
田村 正巳

私は、4月9日付で、長野森林組合の技能職員として採用となりました。二十一年程民間の林業会社で働いてきました。森林組合に入ってから浅く仲間の皆さんに迷惑をかけると思いますが、今までの仕事の経験を中心に「安全第一」で自分なりに一杯努力をして頑張りますので、宜しくお願いします。

土手の草刈り時の足場として円柱丸太を活用しませんか

農地の基盤（耕地）整備が進み、傾斜が急で長い畦畔となり、草刈時の足場確保が容易でなく危険を感じる水田、畑が見受けられます。写真のように、当組合で円柱加工したカラマツ間伐材を足場（木杭、横木）として施工し利用している地域があります。円柱丸太の直径は、9、10cmなど各種あります。防衛加工も出来ま



畦畔に施工された足場

保険金のお支払いの対象となる8つの災害

- 火災
- 風害
- 水害
- 雪害
- 干害
- 凍害
- 潮害
- 噴火災

森林保険に加入しましょう

近年、局的集中豪雨や広い強風域を伴った大型台風の上陸など異常気象が続いています。昨年も組合管内に於いて局的集中豪雨で土砂崩落や倒木の発生がありました。当組合では、「間伐をしたら森林保険に加入しましょう。」と加入推進を行っております。万が一の災害に備えるため、国の保険制度「森林保険」に加入しましょう。

お問い合わせは、お近くの支所までお願いします。

SBCラジオ 豊かな森林キャンペーン

県下18森林組合ではSBCラジオでJフォレストPR活動実施中

SBCラジオ「ずくだせえぶりてい」毎週火曜日午前9時45分から55分まで「私を森林に連れてって」を放送中

SBCラジオろくちゃんの森活動に参加しよう!

人事異動

- 異動 30年4月1日付
- 森林づくり推進課長兼西山支所長代理 赤松 玄人
 - 西山支所長 (森林づくり推進課長兼西山支所長) 伊藤 賢治 (西山支所長代理)
 - 鬼無里事業所長兼営業企画課販売・パイオマス係 戸谷 稔 (鬼無里事業所長)
 - 西山事業所長兼営業企画課販売・パイオマス係 河野 行和 (西山事業所長)
 - 鬼無里事業所係長 横川 秀一 (鬼無里事業所技師)
 - 営業企画課購買・利用係嘱託 根津 則夫
 - 須高支所嘱託 村石 芳美 (再雇用)
 - 西山支所嘱託 久保田武男 (再雇用)
 - 異動 30年5月1日付
 - 参事 寺澤 泰昭 (参事兼会計主任)
 - 会計主任兼総務課長 和田 浩夫 (総務課長)
 - 採用 (技能職員)
 - 北部支所 田村 正巳 30年4月9日付
 - 西山支所係長 久保田武男 30年3月31日付
 - 総務課嘱託 小林 正一 30年3月31日付
 - 須高支所嘱託 村石 芳美 30年3月31日付

編集後記

◆来年度から市町村や都道府県に配分される「森林環境譲与税(仮称)」は、当初3年間は年200億円ですが、法令上使途が定められていますので、森林の少ない首都圏の東京23区をはじめとする自治体は「ヒートアイランド(都市の気温上昇)対策などで木材利用の促進を図る事が想定されます」ので注目して行きたいと思っております。

◆森林経営管理法が成立しましたが、森林管理や林業経営に行政が強力に介入出来るようになるので「戦後林政の大転換」と言っても良いでしょう。